

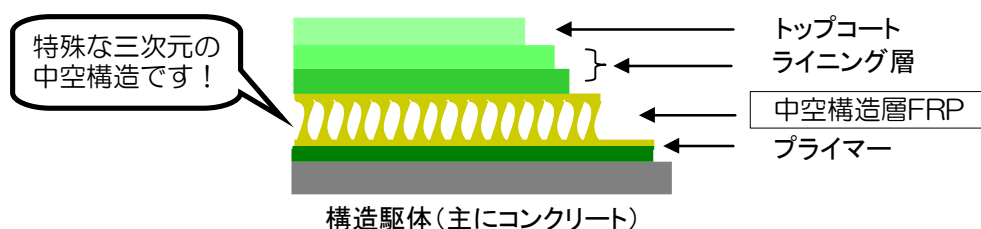
ミヤマの安心ライニング WDS (Water Duct System)

地下貯槽の漏洩対策、万全ですか？

WDS(ウォーターダクトシステム)とは、既設または新設の地下槽内に繊維強化プラスチックをライニングし、耐久性の高い貯留槽を構築し、万が一の槽外への漏液事故を未然に防ぐ、保守管理が可能な画期的システムです！

1. WDSの特長とは・・・

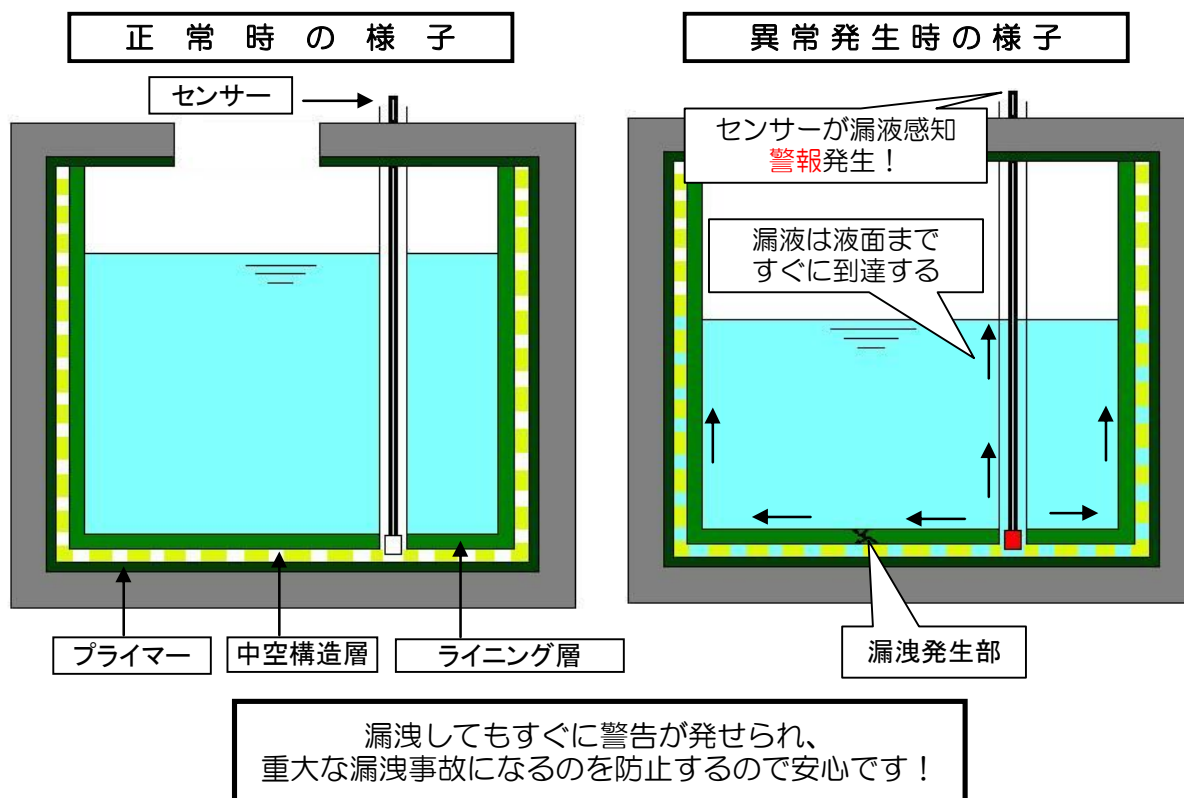
WDSは主に、ビニールエステル樹脂で出来た繊維強化プラスチック(FRP)を用います。このFRPは貯留液の性質に合わせた耐久性のあるものを選択しますので、高い耐蝕性があります。また、1平方センチメートルあたり約5トンの圧にも負けない、高い耐圧性を有しています。



また、もう一つの特長として、地下貯槽が何らかの原因で破断し、液が漏れたとき、瞬時に発見し、漏洩を知らせます。これは用いるFRPの三次元中空構造を利用したシステムです。

貯槽内部にセンサー導入管を中空構造層まで図のように設置します。漏洩が発生したとき、漏液は中空層内を巡り、直ちに貯槽の液面と同じ高さに到達しようとし、この時、センサー導入管内にも同じ高さまで漏液は流れ込み、センサーが漏液を感知し直ちに警告を発します。構造躯体の浸食、槽外への汚染拡大を未然に防ぐ手法であり、既存の貯槽にも無理なく導入することができます。

WDS・漏液感知の仕組み

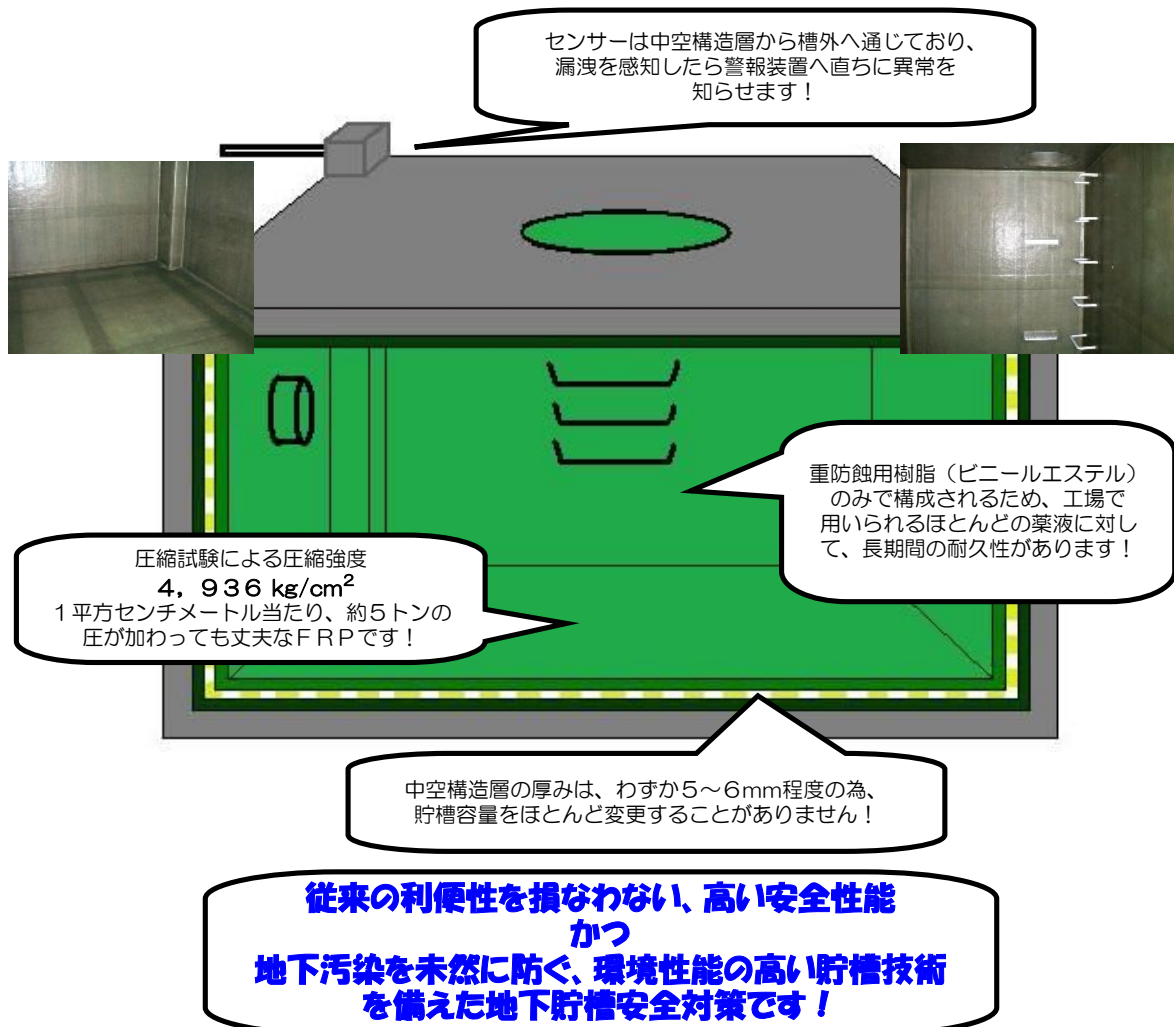


ミヤマの安心ライニング WDS (Water Duct System)

地下貯槽の漏洩対策、万全ですか？

2. WDSを施工すると・・・

以下にWDSを施工したときの簡単な構造を示します。貯留槽の液組成、流入口、排出口の配置、ポンプピットの有無等により、施工の仕様が若干変わることがあります。



以上がWDSの簡単な概要です。

次のようなことをお考えであれば、ぜひWDSの導入をご検討してみたいはいかがでしょうか？

- 地下槽に有害物質含有廃液やpHの高いもしくは低い溶液をストックしているため、貯留液の維持管理に不安を抱えているお客様。

➡ 貯留液の性質に合わせてFRPの材質を選定し施工いたします。漏洩対策も考えられた施工ですので、維持管理は今までよりも安全で安心です。

- 地下槽を持ち、ISOシリーズの認証取得をお考え、または認証を既に取得しているお客様。

➡ WDSの漏洩検知装置により、万が一の地下槽からの漏液による地下汚染を未然に防げます。ISOの審査時、とても優良な管理手法であるとの評判もあり、導入がお勧めです。

見えない不安を、見える安心に変えるWDS。ぜひご検討下さい！

